

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	疑義照会簡素化プロトコルにおける残薬発生に関与する要因の検討および保険薬局による介入に関するアンケート調査
研究責任者	重田雅子
研究実施体制	聖隷浜松病院 薬剤部
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2023 年 12 月 31 日
対象者	2018 年 9 月～2021 年 9 月までの間に疑義照会簡素化プロトコルを利用して残薬調整を行っている方を対象とします。
研究の意義・目的	当院では 2018 年より疑義照会簡素化プロトコル(以下、プロトコル)を導入し、処方日数の変更や一包化の可否等形式的な変更に関して薬剤師が処方修正を行っています。保険薬局からの疑義照会のうち、とりわけ残薬調整における処方日数の変更が多数を占めています。薬剤費増大の対策として残薬の解消が挙げられており、残薬調整を最小限に減らし、不必要な薬剤の処方を減らすことが重要です。また残薬調整を行うことは残薬が発生しうる要因があることを示唆しており、残薬発生要因の根本的な解決も重要です。そこで本研究では残薬発生に関与する要因の検討および保険薬局での服薬指導時における介入に関する意識調査を行うことを目的とします。
研究の方法	【方法】対象患者について、診療録より以下の項目の調査を行います。 調査項目：年齢、性別、身長、体重、BMI、血清 Cr、CCr、BUN、AST、ALT、総蛋白、血清アルブミン、総ビリルビン、直接ビリルビン、LDH、LD、アルカリフォスファターゼ、 γ -GTP、コリンエステラーゼ、CK、アミラーゼ、尿酸、Na、K、Cl、P、総コレステロール、中性脂肪、TG、HDL、LDL、LDL/HDL、血糖、HbA1c、CRP、白血球、赤血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、MCV、MCH、MCHC、好塩基球、好酸球、好中球、単球、リンパ球、好中球数、リンパ球数 疑義照会簡素化プロトコルを使用して残薬調整を行った薬剤名、変更日数、診療科 ・プロトコルを利用して残薬調整を行った方に対して、残薬発生に関与する要因を検討し評価を行います。 ・統計解析は、統計ソフト(EZR®)を用いて比較、解析します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。

資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 薬剤部 (氏名)重田 雅子 TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日